

特別支援学校武道授業実施報告

実施日：2024年6月10日（月）

場 所：楯岡特別支援学校（村山市）

対 象：中学部1～3年生 約30名

指導者：加藤葵 | 山形県空手道連盟 理事 強化委員 | エオンソーシャルシステム(株)

加藤詩織 | 指導補助 | エオンソーシャルシステム(株)

空手の授業は、楯岡特別支援学校にとって昨年に続く2年目の取り組みである。6月25日“互いに学び、良さを見つけ、称賛し合う”ことをねらいとし、自分達が考えた演武の発表会を控えている。今回の授業は、発表会に向けた技術や意識の向上を目的とした授業である。

授業は前半、指導者加藤葵が形の演武としてスーパーリンペイを行った。長時間、真剣に見てられない生徒もいるかもしれない、担当教員からは情報をいただいていたが、ほとんどの生徒が最後まで集中し形の演武を見学されていた。演武後は、生徒全体の緊張感も解け大きな拍手と笑顔で生徒同士が顔を見合わせる様子が見られた。生徒達が日頃、興味関心を持ち授業へ取り組んでいるからこそ、集中して見学していたのだろうという印象を受けた。

その後、1年生から3年生まで、それぞれのグループに分かれて空手の練習を行った。パプリカラテの動画を見ながら基本動作を楽しそうに繰り返し行うグループや、団体形を練習するグループ、礼法や技の軌道、拳の握り方等の基本動作を繰り返し行うグループ等、それぞれの課題に合わせて練習を行った。

指導者は各グループを順に回り、それぞれ生徒へ助言を行った。生徒達は、真剣に話を聞き、聞いたことを何度も繰り返し実践する姿や、疑問に感じたことを積極的に質問する姿、助言を受け嬉しそうに喜ぶ姿等が見られた。

授業の最後は、生徒代表者より

「楽しく空手の授業をうけさせていただきありがとうございました。発表に向けて頑張ります。」

と、力強いお礼の言葉をいただいた。担当した指導者としても大変嬉しく、発表会の成功を願っている。

今後も、正課として空手を取り入れていただける学校が増えるよう、普及への取り組みに貢献していきたい。

山形県空手道連盟
強化委員 加藤葵